

資料 1

佐多町のあゆみ

西暦(年)	内 容
	大泊貝塚……縄文式土器併出 石皿, 砥石, 魚骨, 多量出土, 臨降石, ストンサークル 辺塚遺跡地……土器(弥生式)石斧多数 大中尾遺跡地……弥生式土器, 祝部式土器, 土師器 郡遺跡地……弥生式土器出土 馬籠島泊遺跡地……石斧
701	欽明天皇元年……隼人衆を卒いて上京
1069	藤原頼光所領配分。子頼経に禰寝院の内大禰寝, 浜田大始良の三村を与う。頼貞に同院, 田代, 志利夫, 佐多の三村を譲る。
1121	頼清所領処分の後禰寝院南俣を正八幡宮に寄進した。
1281	佐多宗親の遺領を幕府の命により2/5を定親に2/5を倉次郎に配分。定親其の所領中佐多村西方及び桑東郷武安名を阿古四郎に譲与す。
1283	佐多定親今津後浜で番役をなす。
1285	佐多定親9月より11月まで番役をなす。
1291	佐多阿古二郎6月～8月まで今津後浜で番役をなす。
1305	大隅守護北条時直, 伊座敷親弘と禰寝清治との争論を裁決す。
1316	孫四郎親政佐多村田地屋敷を代銭35貫にて清稚に売却す。
1332	佐多村西方牛担原を三郎, 次郎, 清武と有川五郎入道孫福寿丸と和解の上で2/5と3/5に分割して領知す。
1334	島津貞久大隅守護に補せられ, 貞久の弟忠光に佐多を領し, 佐多と号す。
1351	足利尊氏の庶子直冬の軍, 今川直久が党尾張義冬に禰寝清成に従って, 佐多城を攻め陥れ, 忠光, 鹿兒島屋敷にあり直に軍を發して之を抜く, 佐多氏義西福寺を佐多に建つ。
1378	禰寝久清佐多氏義の佐多城を攻め之を抜いたので, 今川了俊より感状を賜う。 佐多氏第四代伯老日親久知覽城に移る。
1435	島津忠国禰寝清平の弟直清に佐多十町の地を領せしむ。
1535	島津勝久禰寝清年に大隅飯屋を与う。
1594	禰寝重張秀吉の命に従って, 日置, 吉利郷に転封され, 以後禰寝院, 根占, 大根占, 佐多, 田代は島津氏直轄地となる。
1599	川上左京亮初めて四ヶ村地頭となる。
1609	琉球派遣軍主将樺山久高, 凱旋の途次佐多岬神社に蘇鉄2本を植えたと言えられる。
1639	島津氏外城大隅33ヶ所の中, 佐多地頭所あり幕府巡見使への答書に異国船番所津ノ口番所として佐多大泊みゆ。
1687	龍眼樹を佐多伊座敷に植栽す。
1688	佐多立目に島津藩の牧場創設さるとある。
?	
1703	
1751	国老菱刈実詮の建議により薬園創設
?	
1763	
1804	津崎仁蔵鞍掛にレイシ1本を植ゆ。
1854	米鑑山川に来航
1869	県下一の監の産地として知らる。
1870	3月佐多小学校創設 常備隊一分隊を設ける。

西暦(年)	内 容
1871	10月24日佐多岬鉄造八角形洋式灯台及石造官舎竣功
1872	都城県大根占郡治所に属す(伊座敷, 馬籠, 辺塚村)
	3月常備隊解散
	佐多立目崎, 哨大泊, 番所廃止
1873	鹿児島県第三支庁(垂水)に属す(伊座敷, 馬籠, 辺塚村)
1874	12月6日県下で18番目に佐多郵便局ができた。
1875	県第二課が伊座敷民有地2カ所を借用, 監苗仕立場とした。
1879	五月大泊小, 八月竹之浦小, 郡小学校創設
	12月区を廃して郷となし, 伊座敷戸長役場は伊座敷に馬籠外2村戸長役場を馬籠に置いた。
1880	お寺(伊座敷説教所)できる。
1881	8月辺塚小創立
1884	3月県属小山恒光オオバゴムノキの苗を持帰り野尻里作に試植
	大隅郡佐多郷となる9月4村合して戸長役場を伊座敷に置く。
1885	鹿屋一大根占-佐多線県道となる。
1887	7月伊座敷巡査駐在所設置
	辺塚に佐多小林区署設置
1889	6月佐多村役場と改称
1890	4月南大隅郡佐多村となり, 大字伊座敷, 馬籠, 郡, 辺塚とする。
	4月1日郡巡査駐在所設置
1893	大根占小林区署辺塚保護区伊座敷保護区設置
	12月鹿屋区裁判所佐多出張所できる。
1894	9月大泊巡査駐在所設置
1897	肝属郡佐多村となる。
1898	3月称讚寺建立
1900	9月佐多小学校島泊分教場設置
1903	佐多岬漁業会設立
1907	1月営林署郡保護区官舎設置
	佐多村農会設立
	馬込種馬所設置
	佐多岬灯台気象普通観測業務開始
1909	6月請願電信局設置
	12月鹿児島高等農林学校演習林大泊地区に設置
1910	伊座敷鹿児島間月3回定期船往復
	伊座敷漁業会設立
1914	桜島大爆発
	3月中大尾巡査駐在所, 6月中大尾小学校創立
1915	佐多岬附近蘇鉄天然記念物指定
1917	4月~6月東桜島村百引村の244戸中大尾移住
1917	佐多, 根占間県道開通, 客馬車が通った。
	6月1日辺塚産業組合設立
1918	西方島泊間道路改修に着手
1919	発動船がはじめてできた。
	小学校に実業補習学校併設
1920	5月中山市太郎西方島泊間道路改修完成
	6月12日雄川発電所設置, 佐多に点灯
1923	3月大根占の大山氏経営の南統自動車佐多乗り入れ

西暦(年)	内 容
	(フォードの中古車不定期にはしる)
1924	椪柑, 雪柑, 県より委託栽培
1925	温州, 椪柑を植え園芸組合結成
1926	小学校に青年訓練所併設
1930	辺塚郵便取扱所開設
1932	10月19日薬草園文部省より史蹟指定 島泊耕地区整理完工
1933	10月1日トマトケチャップ工場設置
1934	10月20日大曾根魚師飼付組合(資本総額金8,500円, 1口5円)設立
1935	青年学校開設
1937	3月西方隧道できる。 10月測上澱粉工場できる。 郡郵便取扱所開設
1938	3月大泊尾波瀬間県道できる。 2月10日県熱帯植物試験場佐多試験地西方山神に設置 5月辺塚湊原氏自家発電により地区に点灯
1941	小学校を国民学校と改称
1942	7月佐多村農業会設立 農地開発営団で馬込開田に着手
1943	1月食糧営団佐多出張所できる。
1944	佐多丸伊座敷山川間就航
1945	3月18日佐多岬灯台空襲にて破壊
1946	1月大中尾巡査駐在所辺塚に移転する。
1947	4月国民学校を小学校と改称, 佐多中創立 5月島泊, 大泊, 竹之浦, 郡中創立, 農林省食糧事務所開設 6月東山崎に武田製薬大隅農場開設 8月伊座敷大泊線工事再着手 9月町制施行
1948	4月佐多高等学校大中尾中学校創立 5月辺塚中学校創立 馬込開田はじまる。 食糧営団が配給公団となる。
1949	郡農協設立
1950	6月9日佐多岬新装備近代式灯台に生る。 8月薬草園佐多町に払下 12月竹之浦簡易郵便局設置
1951	大中尾菖栄開拓52戸入植 食糧配給公団佐多出張所廃止し民営となる。 9月伊座敷第一種漁港の指定をうく。
1952	3月県土木工事詰所できる。 5月牛の人工授精所設置 6月中大尾簡易郵便局設置, 大中尾電話開通 6月佐多小校舎鉄筋工事落成 8月佐多漁協製氷所できる。 11月1日佐多町教育委員会できる。
1953	島泊浦で真珠養殖はじまる。 6月佐多森林組合設立

西暦(年)	内	容
1954	11月辺塚農協20Kの自家発電設置	
1955	9月1日佐多地区錦江湾国定公園として指定される。	
1956	東山崎上水道建設	
	下岩, 西方瀬戸山, 竹之浦農道完工	
	古里, 郡, 川田代用水路完工	
	早期栽培はじまる。	
1957	役場新庁舎落成	
	東山崎打詰農道完工	
	島泊電話開通	
1958	6月竹之浦ミルク給食室完成	
	テレビの普及	
	田尻, 外之浦電話開通	
	6月称讚寺附属ひかり幼稚園開設	
	8月三州バス, 郡のり入れ	
	大中尾ミルク給食室完成	
	10月伊座敷大泊線県道開通	
1959	6月伊座敷商工会設立	
	6月鉄船佐多丸就任	
	9月三州バス大泊乗り入れ, 佐多タクシー走る。	
	尾波瀬, 瀬戸山西方電話開通	
	馬込上水道建設	
1960	2月町営辺塚, 大泊診療所竣功	
	3月山神県熱帯植物試験場佐多試験地閉去	
	5月馬込開田にはじめて田植をした。	
	7月20日佐多農協野菜市場開設	
	12月穴口隧道できる。	
1961	立目崎に太陽電波装置無人灯台できる。	
	菖栄開拓に電話開通	
	郡農協佐多農協と合併	
	間泊電話開通	
	三州バス建設費約1,900万円をもって島泊西方の中間の嶺に無線中継所(無人)設置	
1963	7月佐多岬ロードパーク完成	
	辺塚沢渡に陸上自衛隊対空射撃場設置	
	大泊港地方港湾に指定される。	
1964	9月鹿児島交通株式会社停留所できる。	
	10月伊座敷～竹之浦間バスの運行	
1965	9月第二佐多丸(620トン)山川伊座敷を運航	
	佐多岬灯台気象普通観測業務開始	
1967	2月伊座敷～大中尾間バスの運行	
	3月田尻港第一種漁港に指定さる。	
1968	3月伊座敷大火	
	8月消防ポンプ自動車(A二級85kw)排気量3,800ccを購入	
1969	3月間泊～大泊間県道完成	
	7月佐多町内電話全国即時網に編入半自動化	
1970	9月患者輸送車(へき地)購入	
1976	佐多町中央公民館完成	
1977	大隅肝付地区消防組合佐多分署開設	

西暦(年)	内 容
1978	学校給食開始 町立はまゆう保育所落成(川田代)
1979	島泊中学校, 佐多中学校へ統合 老人福祉センター完成(川田代) 公営住宅の団地化始まる。
1980	へき地診療所辺塚に完成 土地基盤整備第1号, 郡地区完成
1981	山村開発センター落成 町文化財指定 (島泊磨崖仏, 郡の中世古石塔群, 辺塚の経塚供養塔群) 防災行政無線施設に着工
1982	島泊小学校, 佐多小学校に統合 畜産基地建設開始
1983	農業者トレーニングセンター落成
1984	町立歯科診療所開設 えのきだけ生産施設完成 町農産加工所完成 大規模養殖場造成「間泊」開始 宗教法人平等大慧会涅槃城立目崎に完成
1985	簡易水道中央地区の水道事業始まる。
1986	町役場新庁舎完成
1987	海洋センター落成(プール・艇庫) 屋内ゲートボール場完成(大泊) 肝付南部開発事業開始(国営)
1988	畜産基地完成 簡易水道, 辺塚, 竹之浦地区事業始まる
1989	尾崎佐多アパレル誘致 特別養護老人ホーム真寿園開園 納豆工場完成
1990	半潜水型グラスボート「さたでい号」就航 台風19・20・21号9月3週続けて来襲, 激甚災害指定 “活力あるまちづくり”自治大臣表彰受賞 アワビ茸工場完成 テナガエビ種苗センター完成
1991	半潜水型グラスボート「第2 さたでい号」就航
1992	町内中学校廃校 第一佐多中学校開校